

プログラム

1日目 7月24日(金)

第1会場(1F 大集会室)

8:50~9:00 開会式

開会挨拶 第48回日本中毒学会総会・学術集会 会長 大西 光雄

9:00~10:30 パネルディスカッション1

座長：上田 和正(京都府立医科大学附属病院 薬剤部)
大西 光雄(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター)

[中毒とインフォベイランス (infoveillance) の現在と今後の可能性]

PD1-1 日本中毒情報センターにおけるトキシコビジランスの現状

公益財団法人日本中毒情報センター 三瀬 雅史

PD1-2 SNS上の医薬品情報は何を語るのか
— Toxicovigilance における継続的監視の必要性

岡山大学学術研究院 医歯薬学域(薬学系) 医薬品信頼性科学分野 吉田 直子

PD1-3 サイバー空間における薬物汚染の状況とインフォベイランスの可能性

福岡大学 薬学部 健康危機管理薬学 牛尾聡一郎

PD1-4 ヘルスセキュリティを見据えた中毒発生のインフォベイランスとその限界：
実地サーベイランスとのハイブリッド・モデルの提案

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 救急集中治療センター 佐藤 洋祐

PD1-5 ネットの情報とその活用が中毒学に与える影響、その影と光

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター 大西 光雄

10:40~11:40 基調講演1

座長：宮内 雅人(高知大学医学部 災害・救急医療学講座)

KL1 地域の健康危機を引き起こす潜在的な脅威に対する
我が国で実現可能な取り組みの提案

若井 聡智 国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT 事務局

13:30~14:00 会員総会

14:10～15:10 基調講演2

座長：小野寺 誠(福島県立医科大学 地域救急医療支援講座)

KL2 オールハザードアプローチによる地域の健康危機管理
—中毒事案への備えと対応—

富尾 淳 国立保健医療科学院 防災・公衆衛生レジリエンス研究センター

15:20～16:50 シンポジウム1

座長：織田 順(大阪大学 救急医学)

有吉 孝一(神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター)

[中毒診療教育コースの構築に向けて —課題と実践—]

S1-1 迷う中毒診療

—現場課題と求められるもの：日本中毒学会学術委員会

広島大学病院 薬剤部 檜山 洋子

S1-2 化学事案を学ぶ上での課題と今後の展望

千葉大学大学院薬学研究院 法中毒学研究室 永澤 明佳

S1-3 海外における中毒診療教育：米国の教育体制から考える本邦への応用

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部 上野 由貴

S1-4 化学災害の早期覚知と適切な初動アセスメントを目的とした教育プログラムの開発

国際医療福祉大学 医学部 法医学 本村あゆみ

S1-5 急性中毒標準診療コース(Basic コース)開発の試み：日本中毒学会学術委員会

大阪大学大学院 医学系研究科 救急医学 竹川 良介

17:00～17:40 会長講演

座長：杉田 学(順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)

CL ヘルスセキュリティと中毒
～中毒事案への対応という「氷山の一角」から俯瞰する課題～

大西 光雄 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター

第2会場(3F 中集会室)

9:00～10:30 パネルディスカッション2

座長：松岡 由典(神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター)
佐藤 史織(大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部)

[子供や若年者と中毒の現状を考える]

- PD2-1** 薬物を利用した代理によるミュンヒハウゼン症候群
認定NPO 法人チャイルドファーストジャパン 山田不二子
- PD2-2** 若年層における市販薬オーバードーズの動向および動機の特徴
—SNS 分析と繁華街フィールド調査による検討—
国立精神・神経医療研究センター 喜多村真紀
- PD2-3** 若年者の市販薬による薬物中毒の現状について
藤田医科大学病院 薬剤部 廣瀬 正幸
- PD2-4** 救急搬送された精神科患者(10代)について、
患者・家族支援／他機関連携の課題についての報告
独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 平島 園子
- PD2-5** 若年者による一般用医薬品の意図的摂取の問い合わせ状況について
公益財団法人日本中毒情報センター 高野 博徳
- PD2-6** 子供・若年者における中毒の現状と課題
—毒性学会との連携シンポジウムを踏まえた考察—
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 杉田 学

10:40～12:10 パネルディスカッション3

座長：廣瀬 智也(大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
檜山 洋子(広島大学病院薬剤部／広島大学微生物医薬品開発学)

[ソーシャルハイリスクと中毒を議論する]

- PD3-1** ソーシャルハイリスクを有する高齢者中毒と看護師の役割
独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 診療部 森 寛泰
- PD3-2** 急性薬物中毒で入院した後期高齢者の検討
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科 加藤 久晶
- PD3-3** ソーシャルハイリスクに潜む薬物中毒リスク
—ポリファーマシーと抗コリン負荷の視点から—
国立長寿医療研究センター 薬剤部／
国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室／
国立長寿医療研究センター ジェロサイエンス研究センター 高齢者薬物療法研究グループ 溝神 文博
- PD3-4** 日本中毒情報センターの問い合わせ状況からみた高齢者の中毒事故
公益財団法人日本中毒情報センター 今田 優子
- PD3-5** 精神保健福祉士の立場から考えるソーシャルハイリスクの現状と課題
大阪大学医学部附属病院 素村美津季

中毒症例を“経験”だけで終わらせない
—薬物スクリーニングから機器分析、PK modeling、そしてその先へ—

田村 亮 神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部

共催：株式会社バイオデザイン

[アルコール・グリコール類中毒 ～代謝と酸塩基から診断へつなぐ～]

01-1 治療方針の決定に難渋した繰り返すエチレングリコール中毒の一例

徳島県立中央病院 救命救急センター 徳田進之介

01-2 浸透圧ギャップと尿中シュウ酸カルシウムを手がかりに
エチレングリコール中毒第3期を診断した一例

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 救命救急センター／鹿児島市立病院 救命救急センター 森 竜

01-3 妊娠初期に発症したエチレングリコール中毒の1例

さいたま赤十字病院 外川加奈子

01-4 農薬との混合摂取が疑われたがエチレングリコールのみが検出された中毒死の一部検例

東北医科薬科大学 医学部 法医学教室 奈良 明奈

01-5 Anion gap 非開大性代謝性アシドーシス遷延を契機に
急性シンナー中毒合併を疑ったイソプロパノール中毒の一例

東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科（救急外来部門） 堅 良太

[農薬・工業用品中毒 ～現場由来の危険を読み解く～]

02-1 洗濯用パック型液体洗剤誤飲により喉頭浮腫を呈した1例

北里大学 医学部 救命救急医学 高橋あゆみ

02-2 衣料用漂白剤の服毒による過酸化水素水中毒で門脈ガス血症を認めるも
保存的加療にて経過観察可能であった1症例

公立昭和病院 原 直輝

02-3 酸性洗浄剤と次亜塩素酸ナトリウム含有製剤の混合摂取により
腐食性食道炎を呈した1例

神戸大学医学部附属病院 救命救急科 高山 和之

- O2-4** 酸性洗剤の経口摂取による自殺の一剖検例
愛媛大学大学院 医学系研究科 法医学講座 浅野 水辺
- O2-5** 初期診断に苦慮し長期集中治療管理を要した有機リン中毒の一例
聖マリア病院 救命救急センター 市川 碧衣
- O2-6** ファン付き作業服ヘグリホサート含有除草剤が付着後に嘔吐と水様便を呈した1例
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 救命救急センター 山本 基佳
- O2-7** トルフェンピラド中毒の2例
死亡例と生存例の比較検討
深谷赤十字病院 外傷・救命救急センター 大島 綾乃

16:30～17:40 一般演題3

座長：福島 英賢(奈良県立医科大学高度救命救急センター)
青木 至人(順天堂大学附属順天堂医院 救急・災害医学講座)

[自然毒 ～自然がもたらす毒に学ぶ～]

- O3-1** 非沿岸地域の救急医療機関で経験したクラゲ刺傷の一例
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 救命救急センター 救急科 井上 智博
- O3-2** 2回目のスローロリス咬傷でアナフィラキシーを呈した1例
さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 藏田 展洋
- O3-3** フィブリノゲン低値が遷延した蛇咬傷の1例
名古屋掖済会病院 救急科 小川健一朗
- O3-4** 妊娠35週の重症マムシ咬傷(Grade V)に対し
集学的母体・胎児管理を行い良好な分娩転帰を得た1例
大津赤十字病院 救急科 井上 史嵐
- O3-5** ヘビ咬傷における抗マムシ毒素血清投与の有無に関する2症例
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 薬剤科 原 知斉
- O3-6** 当院におけるハブ抗毒素の使用状況と投与後血清病を認めた一例
社会医療法人友愛会 友愛医療センター 薬剤科 山口 義樹
- O3-7** 動物用ワクチン誤注射におけるアジュバントの影響
公益財団法人日本中毒情報センター 水川裕美子

第3会場(3F 小集会室)

10:20～11:20 一般演題4

座長：近藤 豊(順天堂大学大学院 医学研究科 救急災害医学)
横藤 壽(岩手医科大学 救急災害医学講座)

[重症中毒・集中治療 ～救命への分岐点を読む～]

- O4-1** 血中アルコール濃度800mg/dL以上で心停止を来し
ECMOで救命した急性アルコール中毒の1例
独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院 白石 真之
- O4-2** 降圧薬過量内服による重症循環不全・呼吸不全に対して
VA-ECMOを導入した1例
国立病院機構 水戸医療センター 内山 絢登
- O4-3** クエチアピン、グアンファシン中毒の1例
北里大学 医学部 救命救急医学 長田真由子
- O4-4** 経過時間不明のメトホルミン中毒における
ECMO導入・メチレンブルーのタイミングとは？
日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科/日本医科大学 救急医学教室 大嶽 康介
- O4-5** 美容クリニックにおける脂肪吸引術中の局所麻酔薬中毒による心停止に対し
ECPRで救命した1例
金沢大学附属病院 救急科 堀内 友貴
- O4-6** 経肺熱希釈法が循環管理に有用であった
4-chloro-2-methylphenoxyacetic acid (MCPA) 急性中毒の1例
福岡大学病院 救命救急センター 中村 篤雄

11:30～12:10 一般演題5

座長：高橋 祐次(国立医薬品食品衛生研究所)
西村 泰光(川崎医科大学 衛生学)

[基礎研究・薬物動態 ～毒のふるまいから本質を読む～]

- O5-1** カフェイン過量摂取症例で認められた代謝物比異常と
エチニルエストラジオールによる薬物相互作用の検討
昭和薬科大学 薬学部 薬物動態学研究室 安達昂一郎
- O5-2** 血液透析におけるカフェインの生理学的・工学的ハイブリッドモデルによる
消失シミュレーション解析
熊本大学病院 薬剤部 尾田 一貴
- O5-3** 蛇咬傷の分子診断：セミネステッドPCR法による創部微量DNAからの蛇種同定
長崎大学病院 高度救命救急センター/長崎みなとメディカルセンター 救命救急センター 青木 義紘
- O5-4** アセトアミノフェン中毒患者の全血 mRNA 発現解析
大阪大学大学院 医学系研究科 医学部 中山 幹太

LS2 中毒患者への代謝モニタ(間接熱量測定)の可能性

小島 将裕 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

14:10～15:00 一般演題6

座長：竹川 良介(大阪大学大学院医学系研究科 救急医学)

[解毒薬・特異的拮抗薬 ～最適な一手を考える～]

O6-1 メチレンブルーの経腸投与により救命し得た重症メトヘモグロビン血症

岩手医科大学 救急災害医学講座 横藤 壽

O6-2 エチレングリコール中毒を契機とした希少解毒薬供給体制の構築と薬剤師対応力強化

前橋赤十字病院 薬剤部 伊藤 遼

O6-3 多施設横断調査から明らかとなった 中毒解毒拮抗薬の備蓄・運用の課題と連携体制の必要性

医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院 山本 圭太

O6-4 現場スタッフを守る違法薬物通報体制の構築と運用

(地独)堺市立病院機構 理事会/堺市立総合医療センター 救命救急科/
堺市立総合医療センター コンプライアンス委員会 中田 康城

O6-5 化学テロにおける非医師等による解毒剤自動注射器使用体制の構築と 研究班による指導者養成の実績と課題

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT 事務局 増留 流輝

15:10～16:20 一般演題7

座長：畝井 浩子(T&Tタウンファーマ株式会社)

山本 幸治(奈良県立医科大学 高度救命救急センター)

[一般用医薬品中毒 ～身近な薬の落とし穴を知る～]

O7-1 急性カフェイン中毒による頻回な嘔吐から特発性食道破裂に至り、 保存加療を行った一例

茨城県厚生農業協同組合連合会総合病院 土浦協同病院 鈴木 美麗

O7-2 60gの大量カフェイン摂取に対し血液浄化療法を行わずに救命し得た1例

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 鈴木 誠

O7-3 ブロムワレリル尿素中毒による呼吸不全で集中治療室に入室した1例

湘南鎌倉総合病院 澁谷 大樹

- 07-4** ブロモバレリル尿素含有市販薬中毒における Anion Gap の検討
奈良県立医科大学 高度救命救急センター 山本 幸治
- 07-5** ナロンエース T[®] の分割内服 (俗称 「ナロパカ」) に関連した若年者 2 例
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 大井 和哉
- 07-6** 妊娠中にジフェンヒドラミン製剤を過量内服し、
抗コリン症候群と切迫早産を来した 1 例
秋田大学 医学部 救急集中治療学講座 前野 恭平
- 07-7** 当院におけるアセトアミノフェン過量摂取患者の実態調査
医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 薬剤部 松本 好明

16:30～17:50 一般演題 8

座長：喜屋武 玲子 (埼玉医科大学病院 臨床中毒科)
小原 佐衣子 (国立病院機構災害医療センター 救命救急科)

[医療用医薬品中毒 ～日常診療に潜む危うさを考える～]

- 08-1** ロキソプロフェン 720 mg の過量服薬により遅発性に腎障害が生じた 1 例
広島市立広島市民病院 井上 史也
- 08-2** トラマドールによる II 型呼吸不全が疑われた 1 例
— 薬剤師の中毒診断への貢献 —
岩手医科大学附属病院 薬剤部 / 岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座 菅原 大貴
- 08-3** ベンラファキシン過量内服による無症候性の低血糖を来した一例
札幌東徳洲会病院 玉那覇栗実
- 08-4** 高用量リスペリドン内服後に遅発性 torsades de pointes を呈し、
活性代謝物パリペリドンの関与が示唆された一例
国立病院機構災害医療センター 救命救急科 / 埼玉医科大学病院 臨床中毒科 小原佐衣子
- 08-5** パロキセチン過量服用後に遅発・再燃したセロトニン症候群の一例
関西労災病院 救命救急科 五島 大和
- 08-6** グレープフルーツジュースの同時摂取によりけいれん発作を呈した
デキストロメトルフアン中毒の 1 例
独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター 救急科 櫻井 浩政
- 08-7** 2 次救急病院におけるリチウム中毒 4 症例の検討
ベルランド総合病院 濱口 満英
- 08-8** イベルメクチンを数ヶ月内服による認知機能低下から過剰摂取にいたり
意識障害で搬送となった症例
川崎医科大学 救急医学 藤本 晃充

18:00～ 懇親会 (会場：地下 1 階 レストラン)

2日目 7月25日(土)

第1会場(1F 大集会室)

9:00～10:30 シンポジウム2

座長：早川 桂(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 集中治療科)
柳下 和慶(東京科学大学病院 高気圧治療部)

[急性CO中毒に対するHBO治療エキスパートコンセンサス]

- S2-1** コンセンサス作成にむけて
一酸化炭素中毒の病態生理・臨床 これまでの報告をふまえて
日本高気圧潜水医学会 急性一酸化炭素中毒検討ワーキンググループ 山田 法顕
- S2-2** 一酸化炭素中毒に対する高気圧酸素治療の理論的根拠・適応・治療法
亀田総合病院 救命救急科 鈴木 信哉
- S2-3** JRC 蘇生ガイドライン2025における一酸化炭素中毒治療推奨の経緯
日本医科大学大学院 医学研究科 救急医学分野 横堀 将司
- S2-4** 急性一酸化炭素中毒高気圧酸素療法の提供体制：
HBO 設備保有施設と非保有施設間の連携に向けて
聖路加国際病院 救急科・救命救急センター 大谷 典生
- S2-5** 高気圧酸素治療装置保有施設における急性一酸化炭素中毒対応体制の実態：
JUHMS アンケート2025の結果から
山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター 藤田 基
- S2-6** 急性一酸化炭素中毒への高気圧酸素療法の実務上の課題
順天堂大学大学院 医学研究科 救急災害医学 近藤 豊

10:40～11:40 教育講演1

座長：山口 浩明(山形大学医学部附属病院 薬剤部)

- EL1** 大麻取締法改正
一大麻の代替品が医療現場に与える影響
花尻(木倉) 瑠理 武蔵野大学 薬学部/国立医薬品食品衛生研究所

13:00～14:00 教育講演2

座長：伊関 憲(福島県立医科大学医学部 救急医療学講座)

- EL2** 中毒診療において常に念頭におくべき放射性核種による内部被ばくについて
明石 眞言 元 放射線医学総合研究所/現 介護老人保健施設 エスポワール船橋

座長：山口 浩明(山形大学医学部附属病院 薬剤部)
大谷 典生(聖路加国際病院 救急科・救命救急センター)

[薬毒物分析が支えるヘルスセキュリティー]

WS1-1 Rapid UDT in ER

神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 石橋 拓恵

WS1-2 デキストロメトルファンのスクリーニングに適した尿中薬物検査キット

東海大学 救命救急 齊藤 剛

WS1-3 青酸配糖体検知キットの性能評価に向けた HRMS によるアミグダリン同定法の検討

東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部 医薬品研究科 市川 瑠子

WS1-4 LM1010 を用いたカフェイン定量検査の24時間体制にむけた取り組み

千葉県総合救急災害医療センター 清宮 朋子

WS1-5 小児急性薬物中毒における包括的薬物分析の臨床的有用性：症例集積による検討

千葉大学大学院 薬学研究院 法中毒学研究室／千葉大学大学院 医学研究院 法医学 永澤 明佳

WS1-6 日本中毒学会 薬毒物分析プラットフォーム(JSCT-TAP)の運用について

岩手医科大学 法科学講座 法医学分野／日本中毒学会 分析委員会 森川 剛

座長：本村 あゆみ(国際医療福祉大学 医学部 法医学)
服部 雄司(国立病院機構 東近江総合医療センター)

[化学災害・CBRNE 対応 ～現場と医療をつなぐ底力～]

O9-1 化学物質曝露患者受入れにおける病院救急救命士の安全管理意識の実態と課題

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 高見 浩樹

O9-2 産業中毒におけるプレホスピタル連携

産業医科大学 救急・集中治療医学 尾崎 将之

O9-3 当センターが病院前診療を行った CBRNE 事案の検討

兵庫県災害医療センター 救急部 菊田 正太

O9-4 兵庫県の災害拠点病院における CBRNE 災害対策の実態調査
～6年間の推移～

兵庫県災害医療センター 救急部 菊田 正太

O9-5 プレホスピタルスタッフとの情報共有により
診療開始後に有機溶剤中毒を疑うことができた1例

三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター 中林 明璃

O9-6 医療資源が少ない地方における中毒による多数傷病者の対応について

鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター 吉岡 早戸

第2会場(3F 中集会室)

9:00～10:00 一般演題 10

座長：一二三 亨(杏林大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
神田 大裕(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター)

[ある視点 ～分類を越えて本質に迫る～]

- O10-1** 破損した水銀式血圧計による急性金属水銀中毒の1例
北里大学 医学部 救命救急医学 黒田 匡亮
- O10-2** 水酸化ナトリウム服用後に腐食性胃潰瘍を発症した1例
山形県立中央病院 五十嵐彩夏
- O10-3** Body packer 疑いの患者の臨床的特徴
埼玉医科大学 臨床中毒科 千葉 拓世
- O10-4** 薬塊形成による遷延吸収に対する内視鏡的胃洗浄の有用性
—急性中毒における新たな消化管除染戦略—
北里大学 医学部 救命救急教室 金 宗巧
- O10-5** 服用9時間後の内視鏡的除去および集学的治療により救命し得た
重症トリカブト中毒の1例
川崎医科大学 救急医学 高橋 治郎
- O10-6** 急性薬物過量内服患者における胃洗浄施行の決定と腹部CT所見との関連
横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 森 来実

10:10～11:40 ワークショップ2

座長：富岡 譲二(社会医療法人 緑泉会 米盛病院)
石田 健一郎(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター)
コメンテーター：三瀬 雅史(公益財団法人日本中毒情報センター)

[プレホスピタルとの連携とヘルスセキュリティ]

- WS2-1** 複数傷病者対応における CSCATTT の重要性(硫化水素漏洩による複数傷病者症例)
堺市消防局 上甲 誠
- WS2-2** 硫化水素中毒による多数傷病者に対する現場医療介入の経験
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 福田 隆人
- WS2-3** 中毒災害現場におけるドクターカー看護師の初動対応と役割
～現場出勤看護師からの活動報告～
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 井阪 梢
- WS2-4** プレホスピタルにおける消防と日本中毒センターの連携
大阪市消防局 此花消防署 重松 伸治

WS2-5 小学校で異臭が発生
～児童50人を救急搬送～

八尾市 消防本部 堀内 健伍

WS2-6 プレホスピタルで消防と連携し対応した
化学物質が疑われた多数傷病者発生事案を振り返って

大阪府立中河内救命救急センター 検査室 吉田 元治

WS2-7 化学物質関連の救急搬送におけるプレホスピタル連携と院内対応

東海大学 医学部 総合診療学系救命救急医学 山本 理絵

11:55～12:45 ランチョンセミナー3

司会：株式会社島津製作所

LS3 中毒診療における機器分析体制の構築
～GC/MS 導入に向けた取り組み～

今中 翔一 帝京大学医学部附属病院 薬剤部

共催：株式会社島津製作所

13:00～16:00 化学事案「早期覚知」セミナー

DL 現場の違和感から中毒を疑うためのファーストステップ

【日本中毒学会 化学事案検討委員会】

本村 あゆみ	国際医療福祉大学 医学部 法医学
竹川 良介	大阪大学大学院 医学系研究科 救急医学
大西 光雄	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター
永澤 明佳	千葉大学大学院 薬学研究院 法中毒学研究室
有吉 孝一	神戸市立医療センター 中央市民病院 救命救急センター

第3会場(3F 小集会室)

9:00～10:10 一般演題 11

座長：丸橋 孝昭(北里大学 医学部 救命救急医学)

上野 由貴(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部)

[乱用薬物 ～背景を読み解き、支援につなぐ～]

O11-1 若年者の過量服薬の傾向と諸問題
— 当院の経験から

琉球大学病院 救命救急センター 大内 元

O11-2 法医解剖例からみた10代自殺のOTC薬関与と性差：
COVID-19前後比較

日本大学 医学部 社会医学系 法医学分野/東京大学大学院 医学系研究科 法医学 山口るつ子

O11-3 大阪屈指の繁華街に近接した当院中毒症例の患者特性と転帰

社会医療法人きつこう会 多根総合病院 救急科 近藤隆太郎

O11-4 日本における10代の市販薬過量服用の現状
— その背景に目を向ける —

埼玉医科大学病院 臨床中毒科 喜屋武玲子

O11-5 薬物過量内服患者におけるSAD PERSONS scaleと精神科入院の関連に関する検討：
単施設後ろ向き観察研究

防衛医科大学校病院 救急部 長村 龍憲

O11-6 急性薬物中毒患者の身体合併症の現状

大阪赤十字病院 水 大介

O11-7 二次救急病院に搬送された薬物中毒入院40例の特徴と課題

JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院 杉田真理子

13:00～14:00 一般演題 12

座長：奈女良 昭(広島大学大学院 医系科学研究科(医))

森川 剛(岩手医科大学 法科学講座 法医学分野)

[中毒分析・機器分析 ～検出から同定へ、診療を支える～]

O12-1 エチレングリコール検知管によるプロピレングリコールのスクリーニング

筑波大学 医学医療系 法医学/筑波メディカルセンター病院 神谷 風花

O12-2 血中エチレングリコールの呈色スクリーニング法の検討

科学警察研究所 園田 修平

O12-3 急性薬物中毒における原因薬物構成と尿中薬物スクリーニング診断特性の変化

東海大学 医学部 総合診療学系 救命救急医学 山本 理絵

- O12-4** 常用量のカルシウム拮抗薬内服中に致死域の血中濃度が検出された遷延性ショックの1例：
LC-MS/MSの有用性
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 救命救急センター・救急科 船登 有未
- O12-5** 経皮的ジフェンヒドラミン曝露により TCA 迅速検査偽陽性を呈した一例
千葉大学大学院 医学研究院 法医学 千葉 文子
- O12-6** 青酸配糖体検知キットおよび間接定量法の開発
筑波大学 医学医療系 法医学 稲葉 毬恵

14:10～15:20 一般演題 13

座長：吉岡 早戸（鳥取大学 医学部／鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター）
原田 崇弘（広島大学 死因究明教育研究センター）

[一酸化炭素中毒 ～見えない危険を捉える～]

- O13-1** 製紙工場における一酸化炭素中毒多数傷病者事案の一例
岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター 加納壮一郎
- O13-2** ジクロロメタン吸入患者の一酸化炭素中毒に対して高気圧酸素治療を行った1例
旭川医科大学病院 救急科 大武 志帆
- O13-3** 一酸化炭素中毒患者におけるメトヘモグロビン血症合併の臨床像について
兵庫県災害医療センター 救急部 金田 晴貴
- O13-4** 急性一酸化炭素中毒患者における
HbA1c 測定時の HPLC 異常分画 peak と COHb の関連
昭和医科大学 医学部 救急・災害医学講座 菊地 一樹
- O13-5** 一酸化炭素中毒の集団発生に対して他院と連携した事例
名古屋市立大学 先進救急災害医学講座 船越 拓
- O13-6** 一酸化炭素中毒に合併する心筋傷害の評価法開発：
後方視パイロット研究結果から今後の高気圧酸素治療の効果検証に向けて
筑波大学附属病院 救急・集中治療科 横田 航志
- O13-7** CO中毒に対する新しい治療法として“光照射法”の可能性
聖マリアンナ医科大学 呼吸器外科 平 泰彦

座長：松村 知洋(大垣市民病院 薬剤部)
戸上 由貴(TXP Medical 株式会社)

[中毒診療体制・チーム医療・連携 ～垣根を越えて現場を支える～]

- O14-1** Google lens の利用により来院時から疑うことができたチョウセンアサガオ中毒の1例
公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 成川 遼
- O14-2** 急性薬物中毒診療における測定項目検索システムの改良と AI 技術の応用
大阪府立中河内救命救急センター 検査室 黒田 舞子
- O14-3** ナツメグ中毒の文献的検討と家族内4例の解析：
Poisoning Severity Score (PSS) に準じた実用的重症度分類の提案
東邦大学 医学部 内科学講座 救急医学分野 一林 亮
- O14-4** 薬物中毒入院症例の精神科への転院関連因子：
単施設後方視的検討
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 大杉 一平
- O14-5** 若年者における市販薬過量服用の実態と課題
— 救急医療を起点とした多機関・多職種連携の取り組み —
国立病院機構災害医療センター 救命救急科 小原佐衣子
- O14-6** イラスト付加および詳述化が
マムシ咬症 Grade 分類の判断正確性および判断確信度に与える影響
国際親善総合病院 郷内 志朗
- O14-7** 臨床中毒シミュレーションコースの有用性について
大阪赤十字病院 救急科 東 秀律
- O14-8** 中毒学を題材とした研究入門教育の実践
— クリニカルクエスチョンからリサーチクエスチョンへの展開 —
埼玉医科大学病院 臨床中毒科 喜屋武玲子